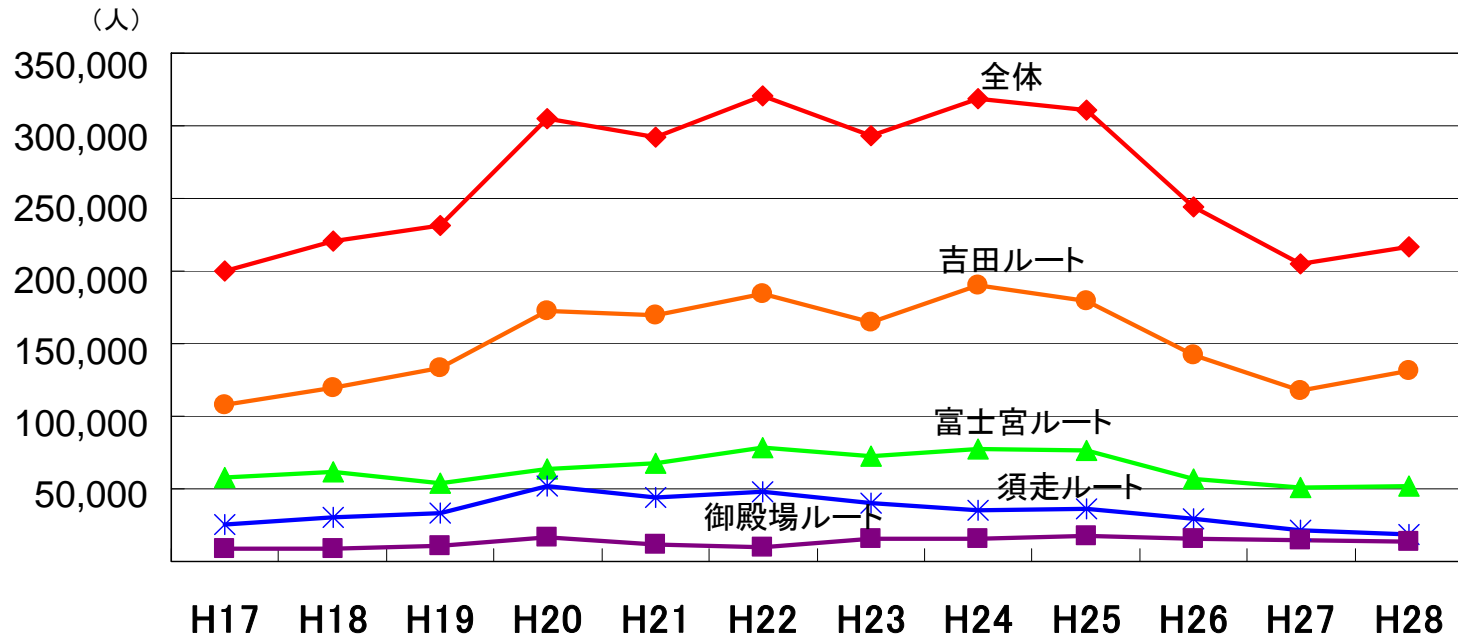


平成28年9月27日

今夏の富士山の状況

登山者数の推移

富士山の全登山者数及び各登山道別登山者数の推移(7月1日～8月31日 環境省調べ)



年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H28-H27
合計	200,292	221,010	231,542	305,350	292,058	320,975	293,416	318,565	310,721	243,662 (285,494)	204,447 (234,217)	216,595 (248,461)	12,148 (14,244)
吉田ルート	108,247	119,631	132,980	172,369	169,217	184,320	165,038	189,771	179,720	141,996 (170,947)	117,267 (136,587)	131,579 (151,969)	14,312 (15,382)
富士宮ルート	57,962	61,611	54,011	64,034	67,590	78,614	72,441	77,755	76,784	57,054 (64,492)	51,453 (57,912)	52,393 (59,799)	940 (1,887)
須走ルート	25,416	30,536	33,394	52,323	43,861	48,196	40,179	35,577	36,508	29,109 (33,092)	21,431 (24,005)	18,487 (20,996)	△2,944 (△3,009)
御殿場ルート	8,667	9,232	11,157	16,624	11,390	9,845	15,758	15,462	17,709	15,503 (16,963)	14,296 (15,713)	14,136 (15,697)	△160 (△16)

※H26～H27のカッコ内の数字は、7/1～9/14までの登山者数、H28のカッコ内の数字は、7/1～9/10までの登山者数

今夏の主な取組

1 登山者の安全対策

- ◆須走・吉田ルートにおける分岐案内看板の増設(下山道道間違い対策)
- ◆観光バス(DVD)、路線バス等(音声)での安全登山、協力金の周知啓発
- ◆安全誘導員(富士宮ルート)、誘導・安全指導員(須走・吉田ルート)の配置
- ◆登山者安全対策用アプリ「コンパス」の機能拡充
- ◆登山シャトルバスの運行時間の見直し

2 マイカー規制の拡大

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
富士宮ルート(富士山スカイライン)	17日間	26日間	34日間	52日間	63日間	63日間	65日間
須走ルート(ふじあざみライン)	6日間			37日間	40日間	47日間	63日間
吉田ルート(富士スバルライン)	15日間	15日間	15日間	31日間	53日間	53日間	53日間

3 富士山保全協力金の実施

- ・登山道開通期間を通じ、各登山道五合目から山頂を目指す登山者を対象として実施
- ・現地受付時間帯・受付場所の見直し ほか

4 収容力の研究に向けた調査

- ・平成27年度に引き続き、4登山道において、GPSロガー調査及び登山者アンケートを実施

富士山保全協力金の実施状況

年度		H26		H27		H28			
区分		山梨県	静岡県	山梨県	静岡県	山梨県	静岡県		
実績	人数	116,237人	43,555人	72,191人	43,792人	98,008人	48,160人		
	金額	114,408,116円	44,021,208円	71,041,820円	43,455,701円	95,690,812円	46,450,569円		
	協力率※	68.0%	40.9%	52.9%	46.7%	64.5%	51.4%		
協力率向上のための施策	受付体制の強化	現地	登山道	(7/1～9/14) ・富士スバルライン五合目 総合管理センター前 24h ・吉田口五合目佐藤小屋 隣 7時～16時(9h)	(7/10～9/10) ・富士宮、御殿場、須走各登山道五合目 9時～18時(9h)	(7/1～9/14) ・富士スバルライン五合目 ロータリー 24h ・吉田口六合目登下山道交差点 6時～18時(12h)	(7/10～9/10) ・富士宮、御殿場、須走各登山道五合目 6時～18時(12h) * 御殿場口： 登山道入口 → トレイルステーション内	(7/1～9/10) ・富士スバルライン五合目 総合管理センター前 24h ・吉田口六合目登下山道交差点 6時～18時(12h)	(7/10～9/10) ・富士宮、御殿場、須走各登山道五合目 4時～16時(12h) * 御殿場口： トレイルステーション内 → 登山道入口
			駐車場	・富士北麓駐車場 (7/10～) 5時～18時(13h)	・水ヶ塚駐車場 (週末・お盆) 5時30分～8時(2.5h)	・富士北麓駐車場 (8/6～) 10時～15時(5h)	・水ヶ塚駐車場 (全日) 5時30分～20時(14.5h)	・富士北麓駐車場 (7/11～) 8時～13時(5h)	・水ヶ塚駐車場 (全日) 5時30分～12時(6.5h)
		インターネット・コンビニ	6月20日 ～9月14日	7月8日 ～9月10日	6月1日 ～9月14日	6月1日 ～9月10日	6月1日～ 9月10日	6月1日～9月10日	
	両県共通の取組	—		・両県統一ロゴ、統一感のあるポスター、チラシの合同作成 ・日本政府観光局(JNTO)への広報依頼	・統一ロゴマークを活用したポスター、使途説明チラシ等の作成 ・旅行会社を訪問し、協力金制度の事前周知を依頼 ・ホームページ・誘導用Webバナーの改善				

※協力率＝協力者数／登山者数(環境省が公表している八合目のカウンターの数値)

来訪者管理に係る調査の状況

1 調査内容

①GPSロガー調査

登山者にGPSロガーを配布し、登山開始～終了までの位置情報等を記録。下山時にロガーを回収する

②アンケート調査

①の協力者及びそれ以外の登山者に対し、アンケート調査票に記入してもらう（神聖性、混み具合、危険性、満足度等）

2 調査日・サンプル等

調査日	ロガー回収数					アンケート回収数				
	富士宮口	御殿場口	須走口	吉田口	合計	富士宮口	御殿場口	須走口	吉田口	合計
7/16(土)～17(日)	103	40	97	117	357	219	61	151	225	656
7/25(月)～26(火)	90	15	36	116	257	134	31	52	162	379
7/30(土)～31(日)	118	40	115	119	392	235	63	155	299	752
8/11(木)～12(金)	118	40	119	117	394	187	62	179	274	702
8/20(土)～21(日)	119	38	87	116	360	198	61	113	269	641
合計	548	173	454	585	1,760	973	278	650	1,229	3,130

※各登山口五合目で実施。初日 6:00～24:00(配布・回収)、翌日 6:00～15:00(回収)

<参考>

○平成28年度 各登山道1日当たりの平均登山者数(7/1～8/31 環境省設置八合目付近カウンター)

富士宮口	御殿場口	須走口	吉田口
1,358人	359人	505人	3,138人

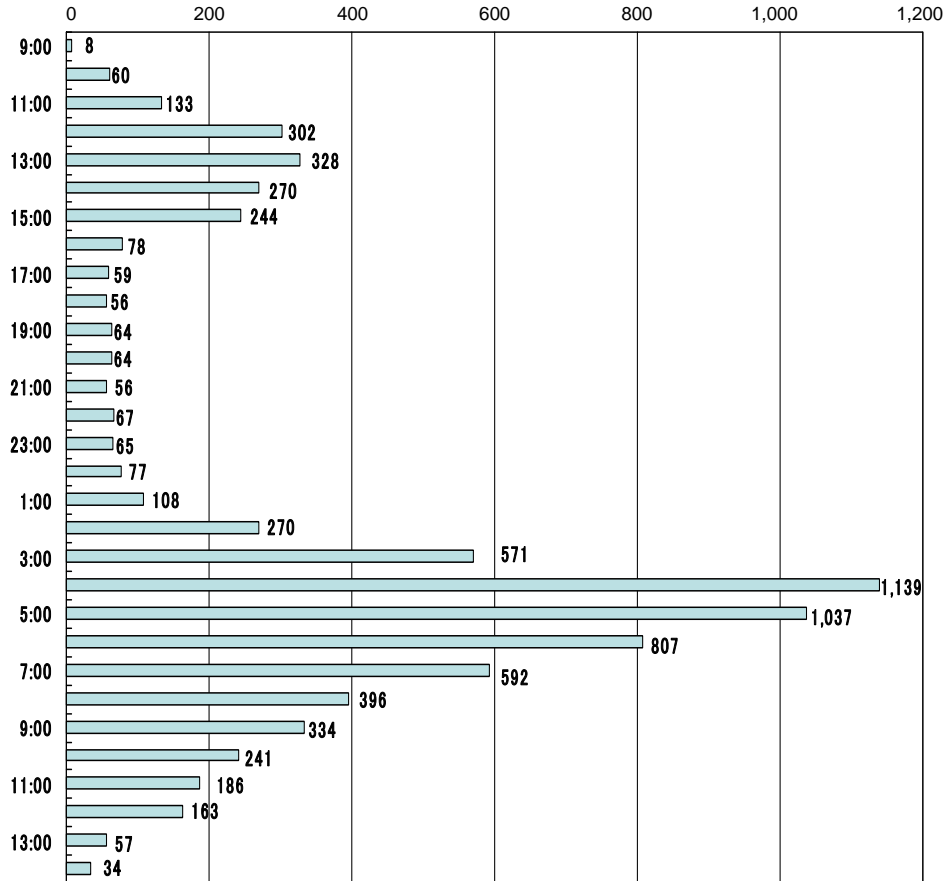
来訪者管理に係る調査の状況

3 調査結果(抜粋) ※簡単な集計が終了した段階であり、詳細な集計・分析は今後実施する。

(1) GPSロガー調査

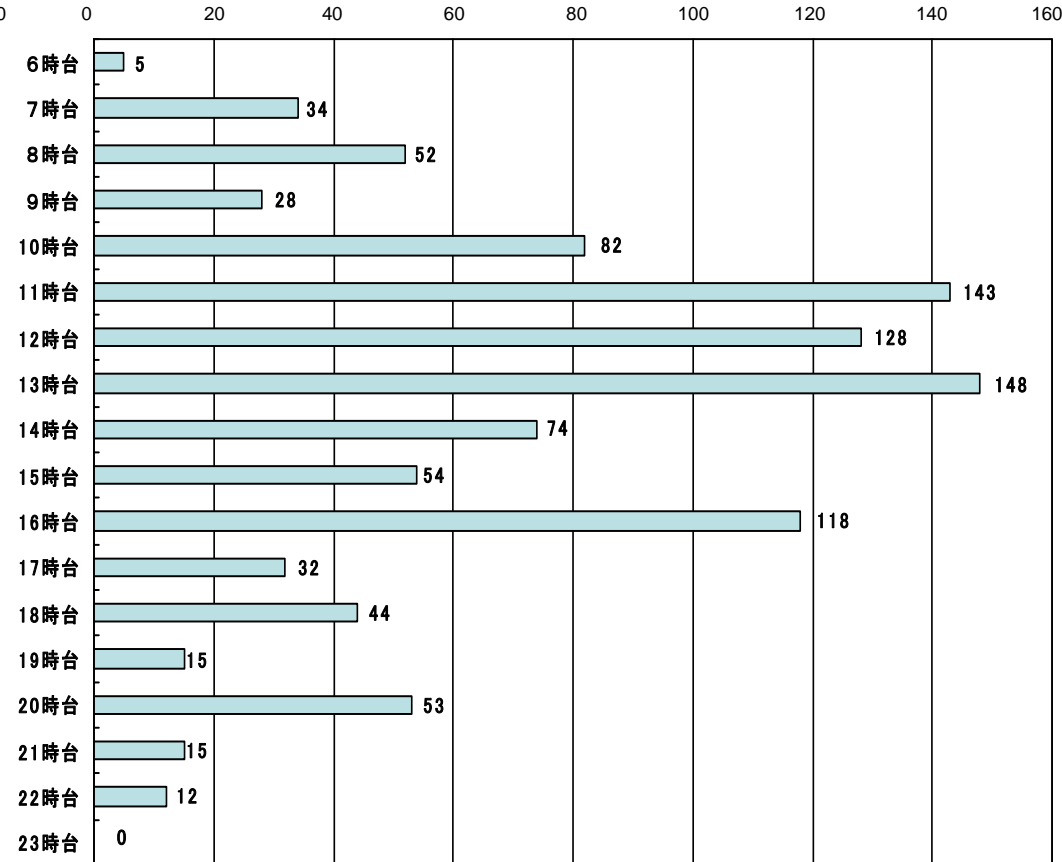
①平日:7/25(月)ー26(火)

【時間帯別・山頂滞在者数(7/25(月)ー26(火))】



13時に日中日帰り登山者等のピークを、その後午前4時に御来光を見る登山者のピークを迎える

【5時山頂滞在者の五合目からの登山開始時刻(7/25(月))】



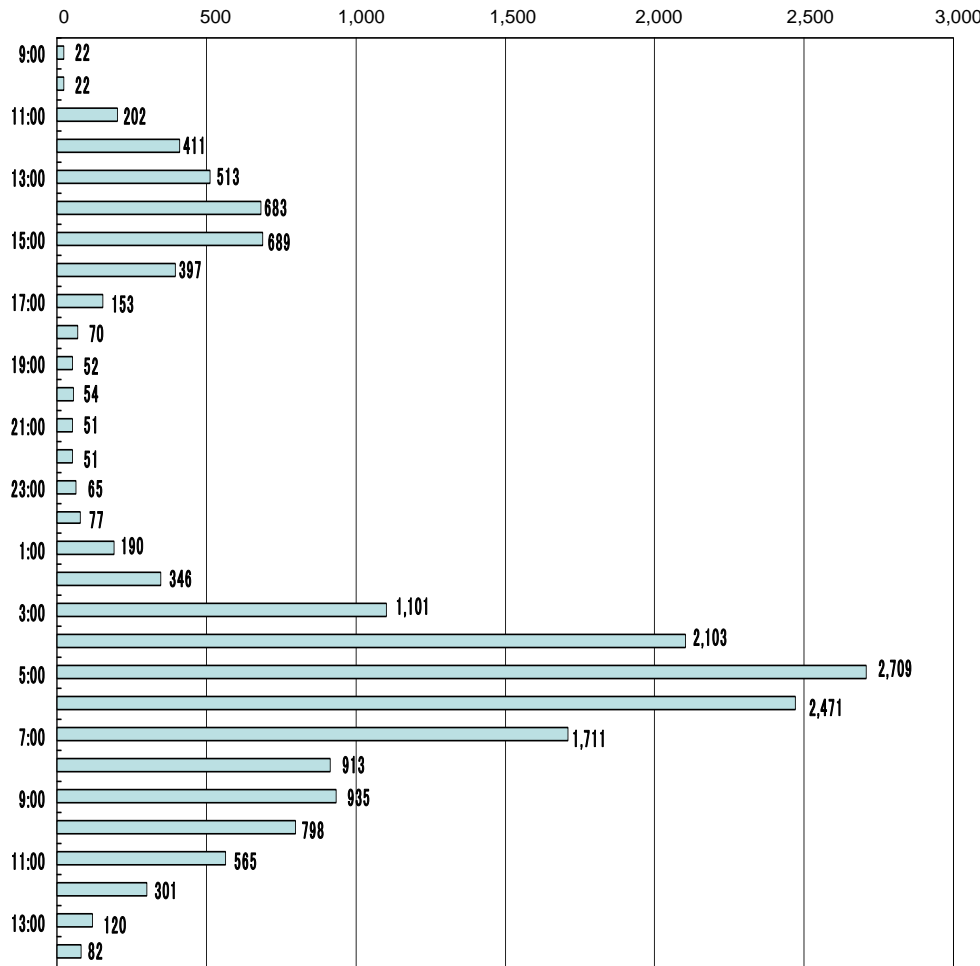
11時台～13時台に登山を開始する登山者が多く、13時台がピーク、16時台、20時台に開始する登山者も多い

※4登山口登山者数(7/25(月))・・・八合目登山者数3,289人(環境省公表数値)
 ※山頂滞在者数は、GPSロガー配布数と五合目登山者数による推計値。

来訪者管理に係る調査の状況

②休日 7/30(土)－31(日)

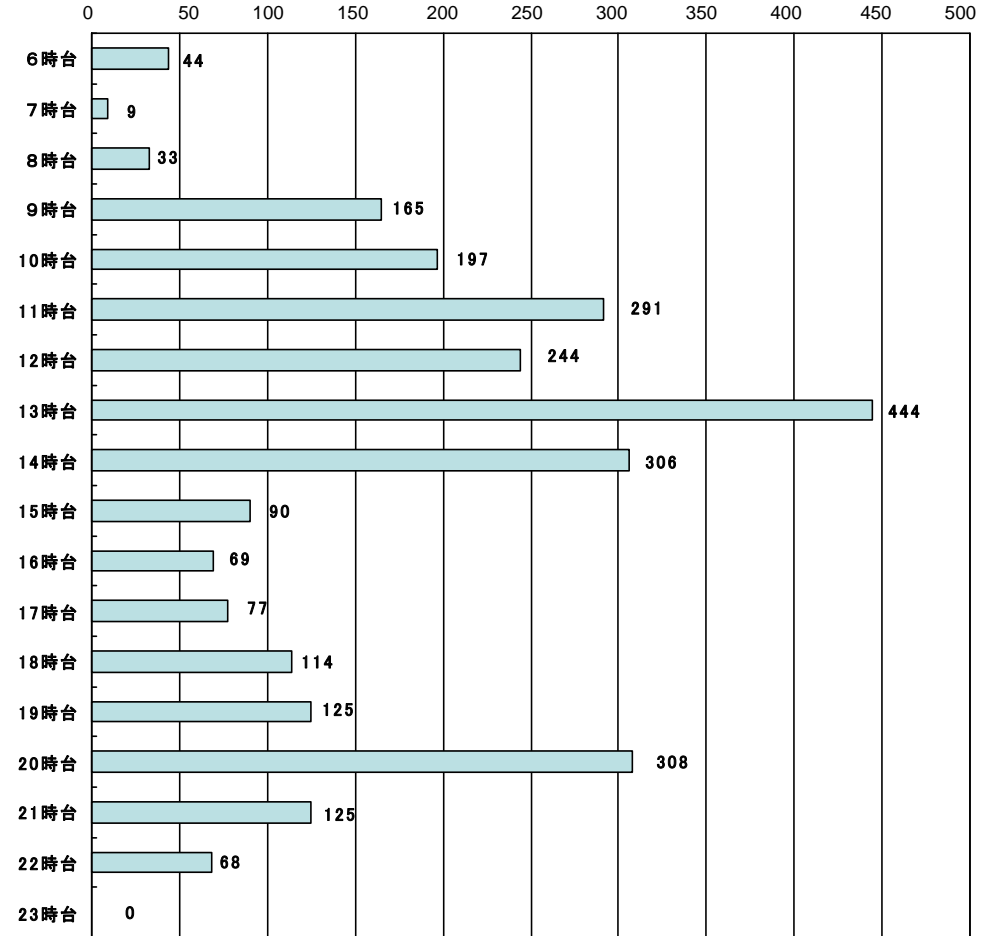
【時間帯別・山頂滞在者数(7/30(土)－31(日))】



混雑が集中する休日においても、同様の傾向。15時に日中日帰り登山者等のピークを、その後午前5時に御来光を見る登山者によるピークを迎える

※4登山口登山者数(7/30(土))・・・八合目登山者数7,762人(環境省公表数値)
 ※山頂滞在者数は、GPSロガー配布数と五合目登山者数による推計値。

【5時山頂滞在者の五合目からの登山開始時刻(7/30(土))】

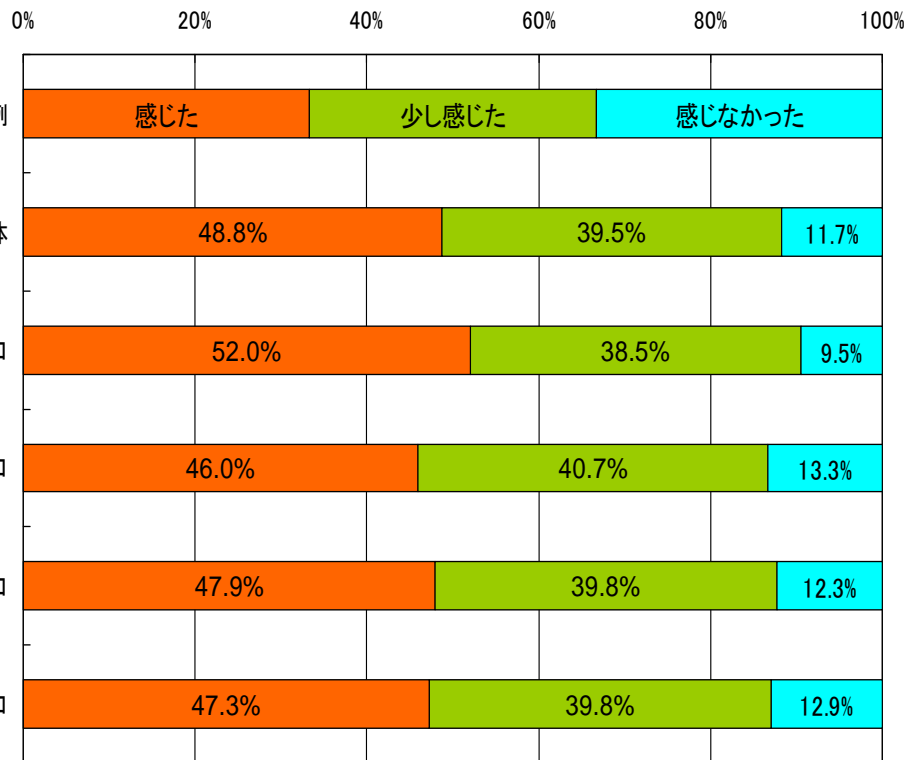


11時台～14時台に登山を開始する登山者が多く、13時台がピーク、18時台～21時台に開始する登山者も多い

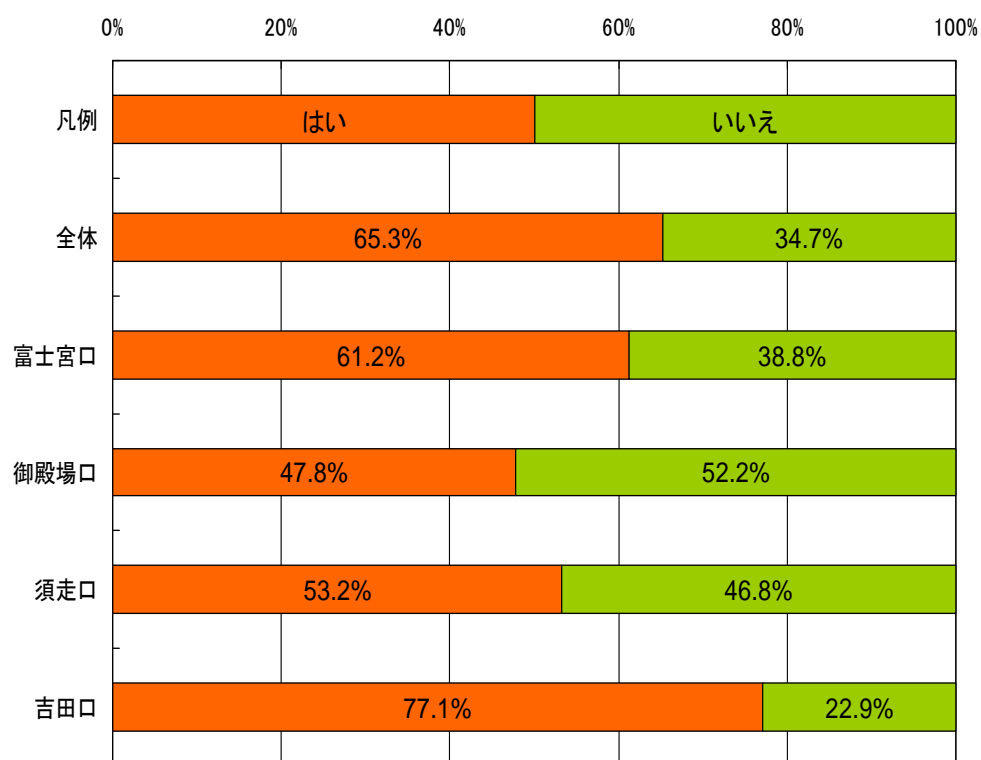
来訪者管理に係る調査の状況

(2) アンケート調査

【神聖さを感じた登山者の割合】



【御来光を見た登山者のうち山小屋宿泊者の割合】



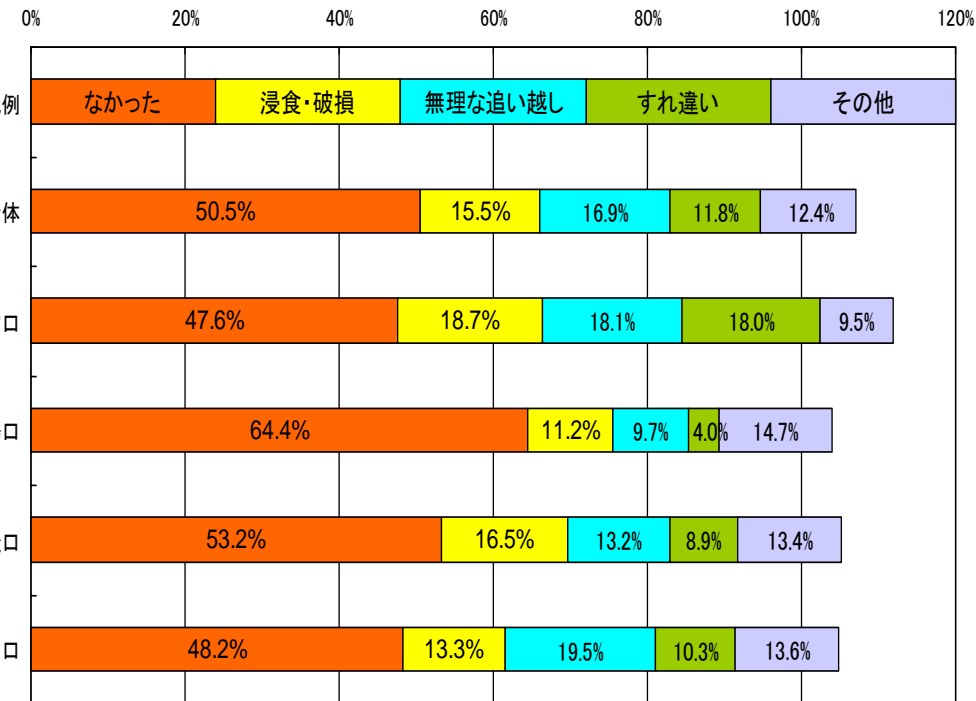
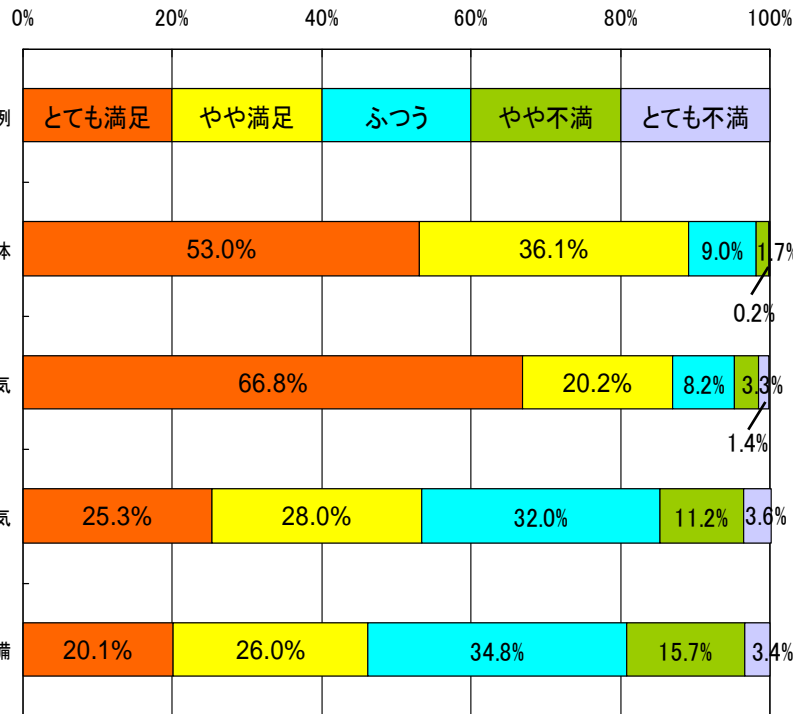
- ・88.3%の登山者が登山を通じて「富士山」に神聖さを「感じた」または「少し感じた」と回答。各登山道で85%を超えており、登山道による差は大きくない
- ・神聖さを「感じなかった」と回答した人が、「神聖さを妨げているもの・こと」と感じたものは、「登山道や山頂の混雑・渋滞」が36.2%と最も多く、「妨げていると感じたもの・ことはなかった」28.1%、「山小屋や売店の外観・設備」21.3%、「登山者のための防災関連の施設(落下防止用の壁・柵など)」4.4%と続く

- ・山小屋に宿泊した登山者は、全体で65.3%と半数を超えた
- ・登山道によって傾向が違い、吉田口が77.1%で最も高く、御殿場口が47.8%と最も低い

来訪者管理に係る調査の状況

【富士登山における満足度】

【登山中に危険を感じた行為等】



※複数回答のため、合計は100%を超える

- ・富士登山全体について、「とても満足」「やや満足」を合わせると89.1%が満足と回答
- ・御来光の景色・雰囲気について、「とても満足」「やや満足」を合わせると87.0%が満足と回答
- ・トイレの数や設備の状態の不満割合が高く、「やや不満」「とても不満」を合わせると19.1%となっている

- ・「危険だと感じたことはなかった」と回答した登山者は50.5%と全体の約半数であり、残りの約半数は何らかの危険を感じるがあったことを示している
- ・危険と感じた内容は、高い順に「無理な追い越しによる人同士の衝突や落石の危険」が16.9%、「登山道の浸食・破損による転落・転倒の危険があった」15.5%、「登山者と下山者のすれ違いによる人同士の衝突や落石の危険があった」11.8%となった